

Hospital Information

人間ドッククリニックのオープン

長年けいさつ病院内で行われてきた人間ドックが「大阪警察病院付属人間ドッククリニック」として近鉄上本町駅に隣接する地に移転し、7月1日にオープンしました。

新装の人間ドッククリニックはMRI、CT、各種X線診断装置、内視鏡、超音波診断装置など最新鋭の診断機器をそろえ、けいさつ病院との連携のもとに運営されます。日帰りコースの他、2日コース、3日コース、レディースドック、脳ドック、肺ドックなど種々のコース、さらに多種のオプション検査を用意しています。落ち着いたとくつろぎをもって検査を受けていただけるようゆったりとした空間をとり、親切と優しさをモットーにした職員が皆さまをお待ちしております。

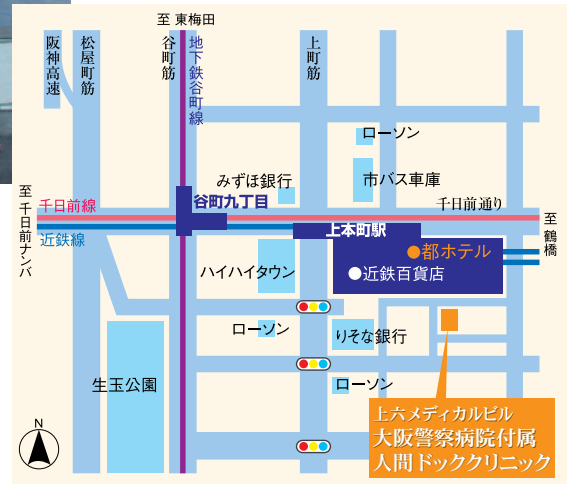
疾患予防には一次予防(疾患にかからないようにすること)と二次予防(発病前の早期発見・早期治療)があり、人間ドックは疾患の早期発見はもとより、生活習慣病(癌、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、肝硬変など)の予防のための検査を行うもので一次予防、二次予防に有効です。発病後の治療は肉体的にも精神的にも、また経済的にも多大な負担を必要とします。健康な生活を送るために40歳以上の方には年1回、ドック健診を受けられることをおすすめします。



大阪警察病院付属人間ドッククリニック



大阪警察病院付属人間ドッククリニック 所長 門田 康正



お問い合わせ 06-6775-3131 にお電話ください。
インターネットによるお申し込みも行ってあります。http://www.oph.gr.jp/doc

病 気 と 栄 養

循環器疾患予防のための食事

心筋梗塞や狭心症などの循環器疾患予防のためには、高脂血症や肥満、高血圧、高血糖の予防や改善に効果的な食事を心がけることが大切です。

- ① 食べ過ぎていませんか？
肥満傾向にある方は減量の必要があります。まずは間食や夜食を控え、適量の食事をよく噛んでゆっくり食べるようにしましょう。
- ② 魚や大豆製品をとっていますか？
肉類ばかりに偏らず、魚や大豆製品もとるようにしましょう。
- ③ 野菜を食べていますか？
野菜はビタミン類やポリフェノールなどの抗酸化物質を含んでいますし、食物繊維も豊富です。毎食欠かさずとりましょう。
- ④ コレステロールをとり過ぎていませんか？
鶏卵や魚卵、レバーなどのモツ類にはコレステロールが多く含まれていますので、とり過ぎないようにしましょう。
- ⑤ 塩分をとり過ぎていませんか？
卓上に塩や醤油を置かないようにしましょう。また加工食品のとり過ぎにも注意が必要です。
- ⑥ お酒を飲みすぎではありませんか？
飲酒の回数や量を控えましょう。ただし、禁酒が必要な場合もありますので、詳しくは主治医の指示を受けてください。

栄養管理課 西尾 勢津子

2. 不整脈疾患
不整脈は、すべての人にあるといっても過言ではない心疾患で、徐脈性不整脈に対

経皮的冠動脈形成術も、施行後20年を経過その症例数は数千例を超え、現在では、バルーン(POBA)だけでなく、アテレクトミー、ロータブレーターといった最新のデバイス(医療装置)を使用可能で、すべての病変に対するインターベンションを含め、年約300例を上回る症例数を経験しています。

3. 心不全
種々の原因による心不全に対して急性期に補助循環を用いた治療を行える体制で、外来での生活指導を含めたきめ細かい治療を行っています。心臓センター開設以来、生活指導や薬物療法に抵抗性の多くの重症心不全患者を抱え、社会制度の矛盾と心臓移植の必要性を一貫して医療の現場から訴え続けてきました。これまで多くの心臓移植の必要患者を救済できずしていましたが、平成10年に我が国で心臓移植再開の初例を経験し、重症心不全患者の治療の選択肢としての心臓移植の定着に貢献できました。



心臓センター長 循環器科部長 平山 篤志

循環器科



診療科の紹介

大阪けいさつ病院循環器科は、急性期から慢性期にわたるすべての心疾患に対して常に最新の知識と技術を持って一人一人の患者さまに喜んでいただける治療を目指しています。ここでは、代表的な心臓病の現状を説明させていただきます。

1. 虚血性心疾患

ここ数十年の間に生活習慣の欧米化と共に疾病構造の変化が起こり、心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患が増加しています。これらの予後を規定する急性冠症候群の発症は予測できないため、常に最高の医療を受けられるような体制をとっています。さらに、最も予後不良な心原性ショックに対しても心臓血管外科や臨床工学課と連携したチーム医療を行って、数多くの症例を救命しており、急性心筋梗塞の急性期死亡率は、4~5%と欧米の一流施設と遜色ない治療成績を挙げています。

3. 心不全

種々の原因による心不全に対して急性期に補助循環を用いた治療を行える体制で、外来での生活指導を含めたきめ細かい治療を行っています。心臓センター開設以来、生活指導や薬物療法に抵抗性の多くの重症心不全患者を抱え、社会制度の矛盾と心臓移植の必要性を一貫して医療の現場から訴え続けてきました。これまで多くの心臓移植の必要患者を救済できずしていましたが、平成10年に我が国で心臓移植再開の初例を経験し、重症心不全患者の治療の選択肢としての心臓移植の定着に貢献できました。

大阪けいさつ病院は、患者さま中心に質の高い医療を提供するため、次のことをめざします。

- 【人権】患者さまの基本的な人権を尊重し、平等に医療を受けられるよう配慮します。
- 【医療の質】急性期病院として、安全かつ高度な医療を実践し、皆さまの満足を得られるよう努力します。
- 【地域への役割】地域の中核病院として、他の医療機関との連携を高め、住民の皆さまの健康を守ります。
- 【職員の行動指針】患者さまのため医の倫理を尊重し、常に自己研鑽し、誠意を持って行動します。

大阪けいさつ病院は、理念に基づく基本方針を実践するため、ここに「権利と義務」の規範を掲げます。

1. 個人の尊厳及びプライバシーが守られること。
2. 平等かつ最善の医療が受けられること。
3. 自己の病状や治療に関して、十分な説明を受け、了解した上で自ら決定すること。
4. 最善の治療を受けるため、ご自身の健康に関する情報を提供していただくこと。
5. 他の患者さまの療養生活を妨げないよう、お互いに配慮していただくこと。



大阪けいさつ病院 理念

人々の健康と幸せのために、人権を尊重しつつ

「愛・熱・和」の精神をもって質の高い医療を提供します。

基本方針

患者さまの権利と義務



上田内科クリニック(内科・消化器科・循環器科)
大阪市天王寺区烏ヶ辻1丁目1-14修和ビル2F
電話:06-6773-2161 JR桃谷駅から徒歩3分

このたび研修医時代を含めて15年勤務しました大阪けいさつ病院を退職し、平成15年12月からJR桃谷駅近くにて開業しております。当院の設立理念は、(1)糖尿病・高脂血症・高血圧など急増する生活習慣病を中心に、その合併症である動脈硬化性疾患、甲状腺疾患、消化器疾患、一般内科につき最先端の医療技術と患者さまの視点に立った医療サービスの提供を目指す、(2)時間をかけて分かりやすく丁寧な説明を行う、(3)患者さま本人や家族の健康について気軽に相談を受け、適切な情報を提供する(よきパートナーとしての継続的な関係を築き、病気の予防・治療にあたる)、(4)病状から必要な場合、各々の疾患の専門医がいる高度先進病院への適切な紹介を行う、です。スタッフ一同この理念に沿って日々努力しております。けいさつ病院からは多数の紹介を頂き、また当院からは高度治療・精査・入院目的にて毎週多くの紹介を行っております。このため、当院関連の方が常に2~5名が入院しておられ、連携医として定期的に病室を訪れ、病状・治療につき病院主治医と検討を行っております。入院と通院との間に連続性を持った治療の実現に向け、なお一層のレベルアップをはかり、大阪けいさつ病院とのパートナーシップをより緊密にしたいと考えております。これからもよろしくお願い致します。

TOPICS & NEWS

心身医学科外来について

皮膚科部長 羽白 誠



平成16年4月より当院皮膚科に「心身医学科外来」を開設いたしました。担当は日本心身医学会認定医の羽白(はしろ)がさせていただきます。

心身医学というと耳慣れないかもしれませんが、心療内科という言葉はご存知ではないでしょうか。皮膚などの身体の症状があるけれどもストレスが関係している病気や、病気のために不安や落ち込みがあり、それがさらに身体の病気を悪化させている状態を扱います。

近ごろはストレス社会といわれる時代で、患者さまもストレスもふくめて診察を希望される方が増えてきました。身体治療のみでうまくいかない場合、メンタルな面を一緒にみるとうまくいくことがあります。そういった患者さまのお役に立てればと思って診療をしております。

初診は通常の皮膚科外来を受診していただき、必要に応じて心身医学科外来の予約をとらせていただきます。心身医学科外来の曜日は水曜と金曜の午後です。

「けいさつ病院ボランティアの会」のご紹介
ボランティアコーディネーター

病院にお越しになられた時、受診のお手伝いや案内で、やさしく声をかけてくれるボランティアさんに、ホッとされた方もいらっしゃるのではないでしょうか。

当院のボランティアの会は、「病院に安らぎと潤いを」と願うOBの看護師たちが中心となって、平成3年に誕生しました。現在は20余名の方々が、初めて来院された患者さまへの受診相談、外来でのご案内、小児科外来の子供たちの遊び相手、そして病棟では入院患者さまへの足浴やシャンプーのサービス、お話し相手など、様々に活躍されています。

ボランティアさんは黄色のエプロンをつけて、生き生き活動されています。皆さまもお声をかけてみてください。



サマーコンサートが開催されました

7月17日(土)午後3時より玄関ホールで、「ハワイアン」をテーマにした『サマーコンサート』が開催され、200名ほどの患者さまにお越しいただきました。

出演は天王寺医師会理事で循環器専門の塘二郎先生とアロハアイランダーズの皆さんで、この夏の猛暑を吹き飛ばすような爽やかなハワイアンサウンドとダンスを披露してくださいました。



編集後記 循環器科、不整脈と今回は心臓の疾患を中心にご紹介させていただきました。当院では、患者さまに最新の治療を提供できるよう全力を挙げております。しかし、治療以前の病気の早期発見、予防も大切なことです。新しくオープンした人間ドッククリニックもご紹介いたしましたので、この機にドック健診もぜひお考えください。

小児科 部長 西垣 敏紀



不整脈治療

経皮的カテーテル心筋焼灼術



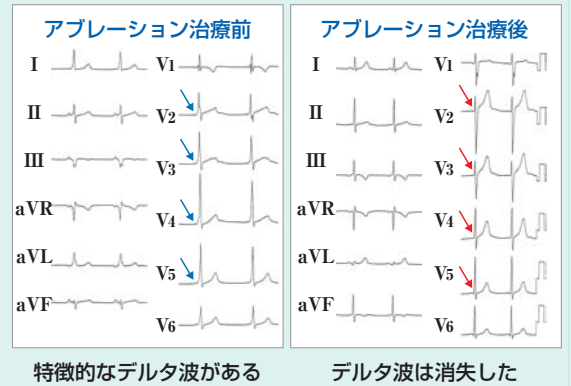
循環器科 医長 奥山 裕司

不整脈には大きく分けて脈が速くなるものと遅くなるものがあります。脈が速くなる不整脈(いわゆる頻脈性不整脈)の治療は薬物治療と今御紹介する経皮的カテーテル心筋焼灼術があります。経皮的カテーテル心筋焼灼術は血管を通して心臓内まで電極のついたカテーテルを入れ、不整脈の発生源を60程度に熱することで焼灼し不整脈を根治する治療法です。薬物治療の問題点は様々な副作用がありうる点、効果が個人個人で異なる点、一時期効果があっても再発がある点などがあげられますが、通常入院しなくても治療が開始できるなど良い点もありません。一方この経皮的カテーテル心

筋焼灼術はごく低い頻度の合併症が認められますが、その高い有効性・根治性から近年では第一選択の治療として行われています。当院では年間100例以上の経験があり、平均的に95%以上の成功率で不整脈が根治しています。代表的な頻脈性不整脈を伴う疾患としてWPM症候群を御紹介します。この疾患ではデルタ波という特徴的な心電図変化がみられます(図1左)、しばしば頻脈発作が繰り返されます(図2)。経皮的カテーテル心筋焼灼術によって副伝導路と呼ばれる異常な電気回路を焼灼することでデルタ波は無くなり(図1右、図3)、頻脈発作も全く起こらなくなります。

図1

左、治療前の心電図。特にV2~5で著明なデルタ波(青矢印)を認め、WPM症候群と診断される。右、アブレーション治療後の心電図。デルタ波は消失(赤矢印)している。



特徴的なデルタ波がある

デルタ波は消失した

図2

WPM症候群に伴う発作性上室性頻拍。心拍数は167毎分であり、この患者さまではこのような頻拍発作がしばしばあった。

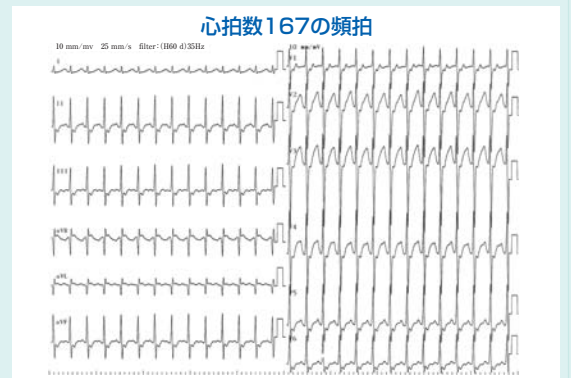
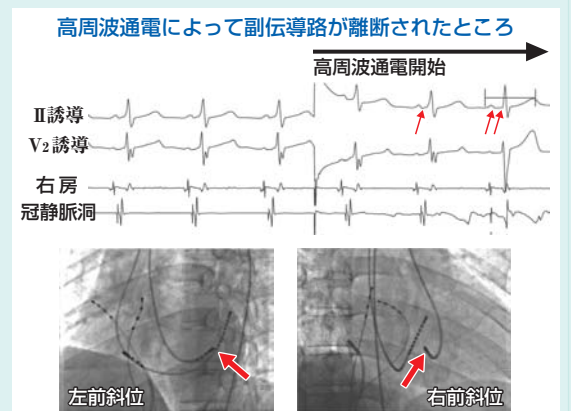


図3

上段、高周波通電によりデルタ波が消失した瞬間を示す(二重矢印)。下段、治療中の心臓内カテーテル。太い赤矢印で示す大きな電極で治療を行う。



皆さまからのお便り

入院中の食事のことですが、心のこもった3度のお食事を毎度楽しみ、また栄養も十分でお味もよく、感謝一杯で一粒も残さず頂きました。おかげさまで退院することが出来ました。スタッフの皆さま本当にありがとうございました。

投稿の募集

(皆さまからのご意見・ご質問等) メールでのご連絡はこちらまで master@oph.gr.jp ※病状の詳細につきましてはメールでは誤解が生じる場合がございますので直接ご来院の上ご相談くださいませ。